

会員・賛助会員の研修企画

京都史跡ガイドボランティア協会 企画研修

2025年

○6月22日(日) **御水尾天皇の生涯と離宮造営への情熱** 講師 京極 文雄

9時半～11時 ひとまち交流館 第3会議室

テーマ 徳川幕府創世記に翻弄される禁中において
寛永の文化人として時代を生きられた後水尾天皇
その生涯の業績と離宮造営に託された思い

雨天延期を6月29日(日) **石田三成の佐和山城と彦根散策** 講師 渡邊 高志

集合場所① 京都駅2番ホーム 8時37分発長浜行き先頭車停車付近

健脚向き 持参物 ストック(有れば便利) カップ・弁当・飲料

集合場所② 9:39彦根駅 改札口集合 雨天中止(前日の雨予報)

○研修の申込みは6月16日(月)までお願いします

企画研修 今井満 090-5362-8981 アドレス mitsuru_imai@kiu.biglobe.ne.jp

※ 新たに入会を考え受講したい方は、ご連絡ください。席数によっては参加可能です。

○7月20日(日) **江戸時代に活躍した平賀源内** 講師 金子 喜三好

9時半～11時 ひとまち交流館 第3会議室

天才科学者・平賀源内(1728～1779)と言えば、「エレキテル(静電気発生装置)」を復元したことで、特に有名である。源内は、本草学者として、薬品会(全国物産展)を数度開催するとともに、出品物の解説書などを著した。また、石綿の発見を火浣布(かかんぷ、燃えない布)の開発につなげたり、万歩計、方位磁石、寒暖計なども作成した。さらに、科学分野以外でも大いに活躍した。例えば、滑稽本や浄瑠璃などを執筆し大きな足跡を残すとともに、洋画も描いた。また、NHK 大河ドラマ・「べらぼう」でも描かれた「吉原細見」に序文を寄せている。源内の創作と言われる「土用の丑の日」を含め、マルチ人間・源内にまつわる数々のエピソードを紹介する予定である。

○8月23日(土) **歴史書アラカルト** 講師 今井 満

9時半～11時 ひとまち交流館 第3会議室

古の歴史は、残された文字や遺跡ではっきりしているが、ジグソーパズルの一片に過ぎず、解釈の仕方によって教科書の表記が異なってきた歴史的事実がある。古の日本を記した史書は、漢書など海外に多くあり、さらにマルコポーロの東方見聞録などヨーロッパからの目線の旅行記もある。同じ史実も著述者の解釈で異なった見解になる。この研修では100余冊の歴史書を紹介し、ともに歴史を考えたい。

以上